

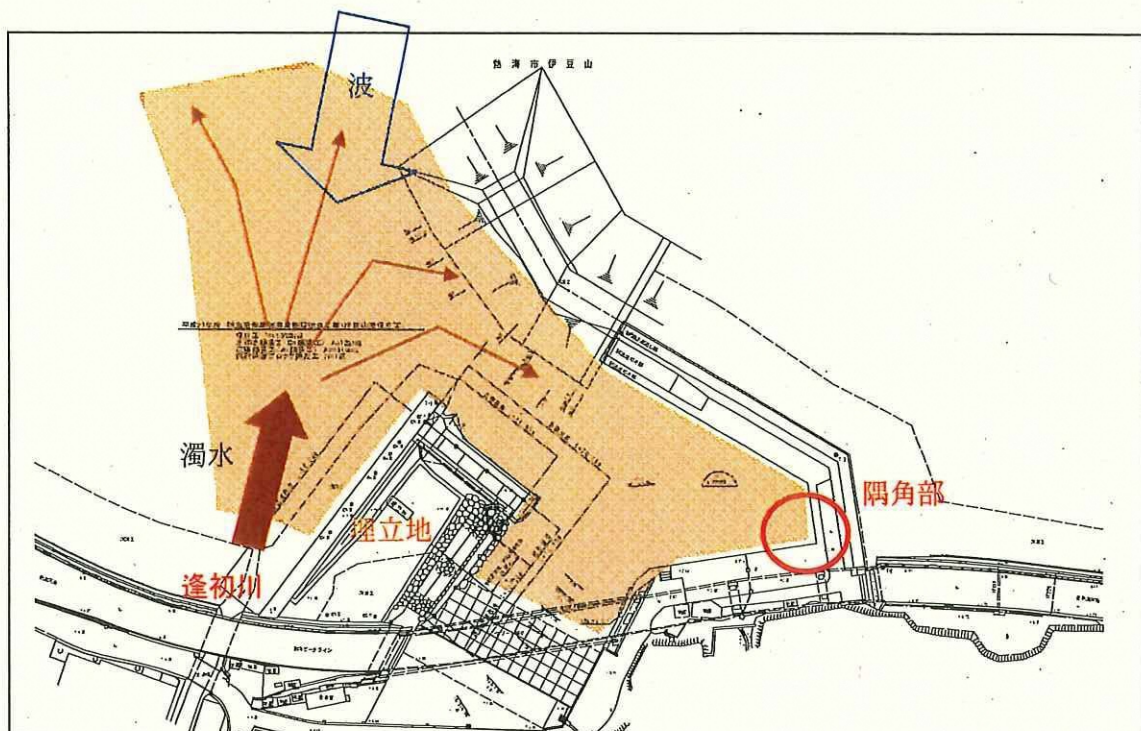
工事課長	主任	課	僚	担当者

平成 21 年 10 月 8 日

伊豆山港の濁りがすごいからすぐに見に来て欲しい、と伊豆山の漁師 [ ] 氏（携帯 [ ]）より電話、管理課 [ ] が対応。

[ ] からの報告をうけ、工事課 [ ] [ ] で現場に直行 [ ]

現場は、現在埋立中の箇所であり、越波による埋立土の洗い流し、または吸出しの可能性も多少考えられるが、港外のにごりの様子から逢初川からの濁流の影響が大きいと考えられる。逢初川の濁りの発生源は、上流部の開発行為によるものと思われる。



逢初川からの濁流

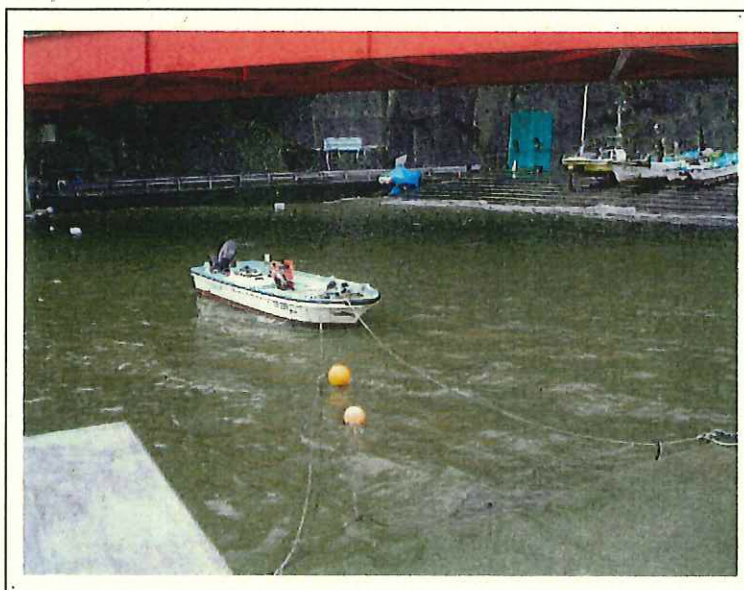




埋立土の表土が少し洗  
われた形跡あり。  
吸出し防止材は波の影  
響をうけて動いている  
が、破れてはいない。



陥没した箇所があり、多  
少の吸出しはあった可  
能性がある。



港内の海水もにごっ  
ている。





港奥隅角部の吹き上げ、  
越波状況。

埋立護岸を作った影響  
で、波が集まりやすくな  
ったとのこと。

何らかの対策がほしい  
との要望あり。